

# ととえあい

No.90

◎さえき社協だより  
◎ボランティアセンターだより

編集・発行:平成25年(2013年)7月1日  
社会福祉法人 広島市佐伯区社会福祉協議会

〒731-5135 広島市佐伯区海老園1-4-5  
佐伯区役所別館  
TEL (082) 921-3113 ・ FAX (082) 924-2349  
E-mail : saeki@shakyohiroshima-city.or.jp

## ぶちボラ体験スクール2013

「ぶち」ちょっぴり、「ボラ」ボランティアの体験をしてみませんか!!!  
★学校では味わうことのできない楽しさと感動が待っています★

★開催日:8月8日(木)～8月10日(土)【全3回】

★開催場所:佐伯区役所別館 6階 大会議室  
(佐伯区地域福祉センター)  
佐伯区海老園一丁目4-5

★参加対象:佐伯区内に居住、又は通学している高校生・大学生  
などから概ね25歳までの青少年

★募集人数:20名程度

★参加費:300円(ボランティア活動保険 保険料)

※講座終了後に“プチ体験”を企画中!

\*ただし、交通費や昼食代は別途  
参加者でご負担をお願いします。  
\*8月10日(土)はこちらで昼食を  
準備します。



日時	内容	講師
8月8日(木) 10:00～15:00	☆レクリエーション ☆知的障害疑似体験 「あび王国へようこそ」	ひろしまレクリエーション協会 渡邊稔彦氏 ひろしま♡あび♡隊 「手をつなぐ育成会 佐伯区支部」
8月9日(金) 10:00～16:00	☆体験「子どもたちと遊ぼう」 龍頭峡へバスハイク!!!	職員 協力:手をつなぐ育成会 佐伯区支部 スバルの会
8月10日(土) 10:00～13:00	☆発達障害の理解 「普段の子どもたちの様子」 ☆先輩ボランティアに聞いてみよう ☆ふりかえり ☆ランチサロン	保護者



お問合わせ  
申込み先

広島市佐伯区社会福祉協議会 広島市佐伯区海老園一丁目4-5  
TEL:(082)921-3113 FAX:(082)924-2349  
担当:田中・三上

# 平成25年度 佐伯区社協事業計画

## ①地域福祉活動第6次5か年計画の実施

昨年度策定した「佐伯区社協地域福祉活動第6次5か年計画」(平成25年度～平成29年度)の初年度に当たり、本会広報紙やホームページ等により区民へ本計画の広報を行うとともに、本年度に計画している事業については、地区社協、町内会、地区民児協、ボランティア、専門機関、行政機関等と連携し、効果的な事業実施に努めます。

## ②地(学)区社協への支援

地(学)区社協が推進している、地域住民によるつながりを基本にした「ふれあい」「見守り」「ささえあい」の活動がさらに充実するよう、「福祉のまちづくり事業」(ふれあいいきいきサロン推進事業、近隣ミニネットワーク推進事業、地区ボランティアバンク推進事業)に関する研修会や情報交換会の開催に努めます。

また、「福祉のまちづくりプラン策定」「地区社協活動の拠点整備」「福祉委員制度」等の課題についても、各地(学)区社協に対して個別に情報提供や支援を行い、取り組みの強化を図ります。

## ③ボランティア活動・福祉教育の推進

昨年、1月30日にオープンした「佐伯区ボランティアセンター」が、区民のボランティア活動の推進拠点となるよう、地(学)区社協の「地区ボランティアバンク」と連携して、ボランティア養成や、相談・需給調整等の機能強化を図ります。

また、福祉教育の推進については、区民に幅広い呼びかけを行い、自らの住む地域に関心と愛着をもち、福祉やボランティア活動にも関心を寄せてもらう層の拡大に努めます。あわせて児童・生徒など若い人たちははじめ、地域のあらゆる人々が、「共に生きる力」福祉の心を育むために、「さえき福祉・健康フェスタ」「小・中学校への福祉教育の協力」等を通じて、福祉体験の場づくりを推進します。

## ④高齢者への支援

脳卒中等の中途障害高齢者や、認知症、寝たきり高齢者の介護者の活動について、会活動や行事、学習会などへの支援を行い、中途障害高齢者や介護者の仲間づくりを推進します。

また、地(学)区社協が取り組んでいる「ふれあい配食訪問活動」(まごころ弁当)については、研修会や連絡会議の開催、助成金の交付等を通して、一人暮らし、夫婦二人暮らし高齢者等への声かけや安否確認など、ぬくもりのある見守り活動が強化されるよう、支援を行います。

## ⑤子育て支援

子育て中のお母さんが孤立しないよう、地域で気軽に立ち寄ることができる、「ふれあいいきいきサロン」の設立や、乳幼児を子育てしているお母さんたちの交流の場「おやっこさえき」の取り組みの支援に努めます。

また、子どもの虐待のない社会の実現をめざし、「オレンジリボン運動」の普及・啓発を図ります。

## ⑥障害(児)者への支援

「在宅障害者青年教室」、手をつなぐ育成会佐伯区支部と連携した「季節行事」、広島市障害者(児)社会参加支援ガイドヘルパー派遣事業等の実施により、障害(児)者の社会参加や仲間づくりに努めます。

## ⑦相談支援

相談や支援を総合的に担い、かつ適切な社会資源の調整を行う「専任相談員」による相談支援や、湯来での「困りごと相談」の充実を図るとともに、福祉サービスなどの利用契約制度になじめない人たちに、福祉サービス利用援助事業「かけはし」の実施によって、生活支援員による金銭管理などの支援を引き続き行います。

また、増加する経済的困窮者への相談に応じ、生活福祉資金の活用や、他制度・サービスの紹介などを行い、自立の支援ができるよう、相談の強化を図ります。

## ⑧指定管理施設の運営・管理

「広島市佐伯区地域福祉センター」「広島市石内福祉センター」「広島市老人いこいの家」(10館)の指定管理にもとづいて、地域福祉活動、市民活動の推進拠点としての機能強化を図ります。

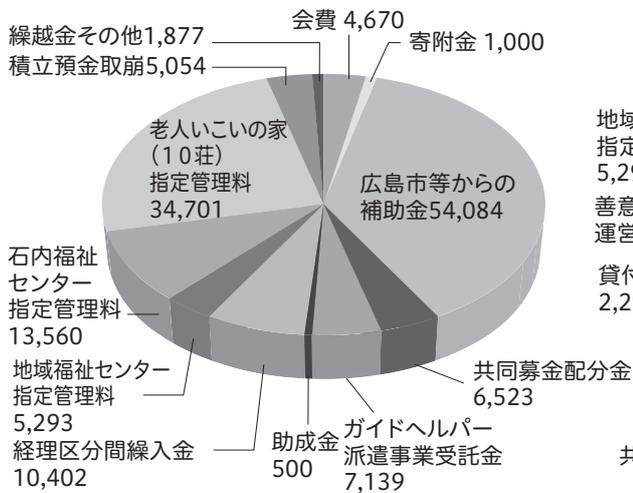
また、本年度は、「指定管理施設」の次期指定管理の応募の年度にあたり、各施設の応募について検討を行います。

## ⑨自主財源の確保

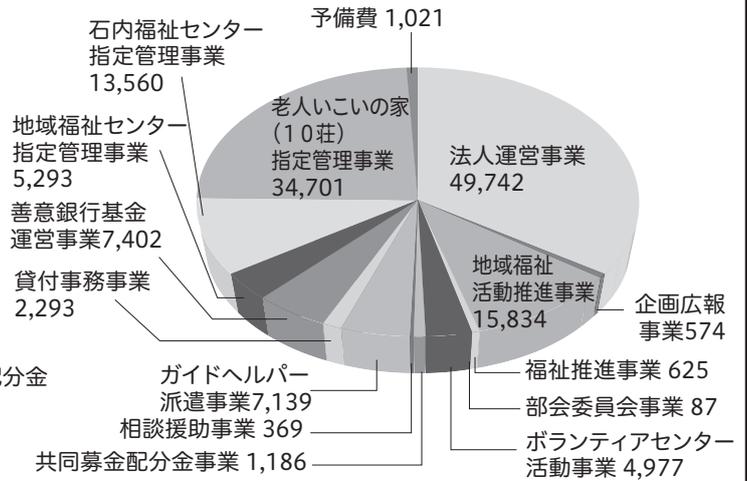
昨年度呼びかけの拡大を行った賛助会員の募集について、今年度はその定着を図るとともに、共同募金、寄付金についても分かりやすく、丁寧に呼びかけを行い、その確保に努めます。



## 【収入の部:合計 144,803千円】



## 【支出の部:合計 144,803千円】



# 健康マージャンで心身のリフレッシュ

「チー ポン ロン」「それじゃあまだ上れんよ!」部屋に入ると元気な声が聞こえる。マージャンをやっている日のサロンは大変賑やかだ。「マージャンが出来ると言うので来てみたよ!」「楽しそうじゃネ…」初めて参加した人の声。

公民館の一室で開催しているいきいきサロン「みすずいこいの部屋」の朝の風景です。

団地内には集会所を中心に多くのいきいきサロンが開設されていますが、いずれも月1・2回の開催です。平成20年9月に立ち上げた「みすずいこいの部屋」は、ゆくゆくは団地の誰もが何時でも立ち寄れる常設の場所を目標に、団地の中心地の一角にある公民館の一室に開設したサロンです。

当初は毎週水・金曜日の2回開催、開催時間は10:00～15:30として、買い物・銀行・郵便局・公民館行事の帰りに立ち寄ってお茶を飲みながら一休みして貰おうと始めたものです。従って、出入り自由で飲み物はセルフサービス、とは言え飲み物の準備と後かたづけ、来訪者の見守りは必要であり、地域のボランティアの方に輪番で当番をお願いしています。

しかし、時が経過するにつれて仲間同士が日を決めて集まり、お喋り、折り紙、作品づくりと始めの思いとは少し変わりましたが結構賑わっていました。

ただ、目的は利用者の多少でなく、いつ訪れても利用できる場所であると言うものの、午前中の利用者が少ない事が、当番としては気がかりで、いっそ午後だけ開いたら…何かテーマを決めて呼びかけたら…の提案が出ていました。そんな中、去年の始め、当番の方

から「マージャンを習ってみたい仲間がいるので、訪問者の少ない午前中に部屋の片隅でやらせて…」との話が持ち上がり、それがきっかけで、早速周りの人に今使っていない用具の提供を呼びかけ始めたものです。

当初は月2回の開催でしたが、話を聞いて参加者が増え、毎週1回、そして今年からは月6回開催しています。勿論、賭けない、飲まない、吸わない、をモットーとする健康マージャンです。部屋が狭いので4卓で一杯ですが午前中であってもマージャン以外の来訪者もあり、午後からはこれまで通りの開催です。

参加する人の多くは初心者の女性、昔を思い出しながら男性の参加者がコーチ役で皆さん楽しんでます。

多くのサロンで、参加者が固定化すること、男性の参加者が増えないことは課題ですが健康マージャンは今のところ、その課題を解消すると同時に頭と指先を使って脳の活性化を図り、楽しみながら心身をリフレッシュ、仲間づくりに貢献する地域の溜まり場となっています。

美鈴が丘地区社協会長 廣畑 村夫



マージャンをしている風景

# 平成25年度 佐伯区社協賛助会員募集

広島市佐伯区社会福祉協議会では、地域における助けあいや支えあいを通して、誰もが安全で、安心した生活が送れる地域社会づくりを目指しており、高齢者や障害者、子育て中のお母さん方の地域参加の場づくりや仲間づくりを行う活動として「ふれあい・いきいきサロンづくり」や「見守り活動」など、地域に根ざした福祉コミュニティづくりを進めています。こうした本会の活動にご賛同いただき、個人・団体・企業等のみなさまに「賛助会員」として、本会をご支援くださいますようお願いいたします。

このような賛助会費は、地域住民のふれあいの場である「ふれあい・いきいきサロン活動」や、障害のある子どもたちの地域参加や仲間づくりの活動の財源等にいたしますので、みなさまのご協力をお願いいたします。

年会費(何口でもご加入いただけます)

- ・個人会員 1,000円(1口)
- ・団体・企業会員 5,000円(1口)

お問合わせ・申込み先

社会福祉法人 広島市佐伯区社会福祉協議会  
 広島市佐伯区海老園一丁目4番5号(佐伯区役所別館)  
 電話:921-3113 FAX:924-2349

平成24年度は、1団体、52名(82口)の方々から賛助会費が寄せられました。  
 ここに報告いたしますとともに、心より厚くお礼申し上げます。

<団体> NPO法人 障害者支援センター明星

<個人>	中本 忍	佐々木 昇	橋本 哲夫	森田 敬子	川野 静枝	西 克己
	末田 明美	漆原 清	田形 正	日高 義幸	古池 里司	宮崎 義範
	築地フサ子	佐々木繁盛	米田 健治	佐藤 哲規	桑津 英二	山崎 貢
	佐々木恵子	安井由起子	田村 恵音	匿名31名		(敬称略・順不同)

## 赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

“じぶんの町を良くするしくみ”をスローガンに、赤い羽根共同募金運動(運動期間:平成24年10月1日~12月31日)が実施されました。

今年度、広島市共同募金会佐伯区分会におきましては、13,097,537円の募金を頂きました。

お寄せいただいた募金は、地域福祉の充実のため、佐伯区では主に、右記のような取り組みに活用させていただきます。

- ふれあい配食訪問活動(まごころ弁当)
  - さえき福祉・健康フェスタ開催
  - 地区社会福祉協議会活動として
    - ・地区ボランティアバンク(支えあい活動)
    - ・近隣ミニネットワークづくり(見守り活動)
    - ・ふれあい・いきいきサロン(ふれあい活動)
- など

## 愛の灯

温かいご寄付、ありがとうございました。  
 お寄せいただいたご寄付は、佐伯区の社会福祉事業のために大切に使用させていただきます。

(平成25年2月1日~平成25年5月31日)

### ●香典返礼として

もりかわ まさる  
 森川 大 様 (利松)

### ●一般寄付として

ふもんえいじゆ かい  
 普門永寿の会 様  
 山口県東部ヤクルト販売株式会社 様 (岩国市室の木町)  
 手話サークル さくら 様  
 かよう かいがぶとかようきょうしつ  
 NKES歌謡会甲歌謡教室 様 (受付順)

